

教育研究業績書

2025年05月07日

所属： 建築学科

資格： 教授

氏名： 鳥巢 茂樹

| | |
|------------------------|---------------------------------|
| 研究分野 | 研究内容のキーワード |
| 建築構造設計, 構造振動解析, 木質空間構造 | 建築構造設計, 振動解析, グリッドシェル, レシプロカル構造 |
| 学位 | 最終学歴 |
| 工学修士 | 京都大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了 |

教育上の能力に関する事項

| 事項 | 年月日 | 概要 |
|----------------------------|-------------------|--|
| 1 教育方法の実践例 | | |
| 1. 組立て解体可能な創作茶室の制作指導 | 2024年10月2025年1月 | 大学院修士課程「建築設計総合演習B：原寸大の空間構築」において、ペットボトルおよび廃材瓦を用いた組立て解体可能な茶室2作品の制作を指導 |
| 2. 創作茶室の制作指導 | 2024年5月～2024年7月 | 大学院修士課程「建築設計総合演習B：原寸大の空間構築」において、日干し煉瓦を用いた創作茶室作品の制作を指導 |
| 3. 組立て解体可能な創作茶室の制作指導 | 2023年10月～2024年2月 | 大学院修士課程「建築設計総合演習B：原寸大の空間構築」において、円錐台形トラス木軸に和紙を張った組立て解体可能な創作茶室作品の制作を指導 |
| 4. 組立て解体可能な創作茶室の制作指導 | 2023年5月～2023年8月 | 大学院修士課程「建築設計総合演習B：原寸大の空間構築」において、解体可能な紙管柱+木桁+建具による創作茶室と1x6木材の積上げによる創作茶室の2作品の制作を指導。 |
| 5. 組立て解体可能な創作茶室の制作指導 | 2022年10月～2023年2月 | 大学院修士課程「建築設計総合演習B：原寸大の空間構築」において、紙管および足場板を用いた組立て解体可能な創作茶室2作品の制作を指導。 |
| 6. 組立て解体可能な創作茶室の制作指導 | 2022年5月～2022年8月 | 大学院修士課程「建築設計総合演習B：原寸大の空間構築」において、竹編みによる組立て解体可能な創作茶室2作品の制作を指導。 |
| 7. 組立て解体可能な創作茶室の制作指導 | 2021年10月～2022年2月 | 大学院修士課程「建築設計総合演習B：原寸大の空間構築」において組立て解体可能な創作茶室の制作を指導。三方格子構造と木質曲面壁構造の2作品を制作。 |
| 8. 創作茶室の制作指導 | 2021年5月～2021年8月 | 大学院修士課程「建築設計総合演習B：原寸大の空間構築」において、小径材を用いたセルフビルドの創作茶室の制作を指導。付随する技術演習Bの構造も同時に担当。 |
| 9. 木製テンセグリティ構造のタワーの制作指導 | 2020年10月～2021年2月 | 大学院修士課程「建築設計総合演習B：原寸大の空間構築」において木製テンセグリティ構造のタワーの制作を指導 |
| 10. レシプロカル構造のスパイラルタワー制作指導 | 2020年10月～2021年2月 | 大学院修士課程「建築設計総合演習B：原寸大の空間構築」においてレシプロカル構造の螺旋状塔体の製作を指導 |
| 11. 折板積層構造のタワーの制作指導 | 2020年10月2021年2月 | 大学院修士課程「建築設計総合演習B：原寸大の空間構築」において折板ユニットを積層した塔状モニユメントの制作を指導 |
| 12. 竹編みシャル構造のベンチの制作指導。 | 2019年10月～2019年02月 | 大学院修士課程「建築設計総合演習B：原寸大の空間構築」において竹編みシェル構造のベンチの制作を指導。 |
| 13. 折畳み可能なレシプロカル構造の茶室の制作指導 | 2019年05月～2019年08月 | 大学院修士課程「建築設計総合演習B：原寸大の空間構築」において折畳み可能なレシプロカル構造の茶室空間の制作を指導。日本建築学会主催：学生グランプリ2019「銀茶会の茶席」コンペに出品し、優秀賞を受賞。 |
| 14. モルタル製シェルの茶室の制作指導 | 2018年11月～2019年2月 | 大学院修士課程「建築設計総合演習II：原寸大の空間構築」においてラスモルタル製シェルおよび竹製グリッドシェルを用いた茶室空間の制作を指導。 |
| 15. 木質HPシェルのタワーの制作指導 | 2018年05月～2018年08月 | 大学院修士課程「建築設計総合演習II：原寸大の空間構築」において木質HPグリッドシェルを組合せたタワーの制作を指導。 |
| 16. グリッドシェル構造の小建築空間の制作指導 | 2017年11月～2017年02月 | 大学院修士課程「建築設計総合演習II：原寸大の空間 |

| 教育上の能力に関する事項 | | | | |
|--|---------|-------------------------|-------------------|--|
| 事項 | | 年月日 | | 概要 |
| 1 教育方法の実践例 | | | | |
| 17. レシプロカル構造のドームの制作指導 | | 2017年05月～2017年08月 | | 構築」において木質グリッドシェル構造を用いた小建築空間の制作を指導。 |
| 18. テンセグリティ構造のタワーとテントの制作指導 | | 2016年11月～2016年02月 | | 大学院修士課程「建築設計総合演習Ⅲ：原寸大の空間構築」においてレシプロカル構造を利用した直径12mのドーム架構他の制作を指導。 |
| 19. 折り紙構造によるタワーと照明シェードの制作指導 | | 2016年05月～2016年08月 | | 大学院修士課程「建築設計総合演習Ⅱ：原寸大の空間構築」においてテンセグリティ構造によるタワーおよびテンセグリティ構造の支柱を有する膜構造テントの制作を指導。 |
| 20. 折り紙構造によるドームの制作指導 | | 2015年05月～2015年07月 | | 大学院修士課程「建築設計総合演習Ⅲ：原寸大の空間構築」において折り紙構造を利用した折り畳み式タワーおよびマジックボール折り紙の変形する照明シェードの制作を指導。 |
| 21. シザーズ構造骨組のボルトテントの制作指導 | | 2014年05月～2014年07月 | | 大学院修士課程「建築設計総合演習Ⅲ：原寸大の空間構築」において吉村折りを用いた折り紙構造のドームの制作に挑戦。付随する技術演習Ⅲの構築を担当。 |
| 21. シザーズ構造骨組のボルトテントの制作指導 | | 2014年05月～2014年07月 | | 大学院修士課程「建築設計総合演習Ⅲ：原寸大の空間構築」においてシザーズ構造による折畳み式ボルト骨組みの制作に挑戦。付随する技術演習Ⅲの構築を担当。 |
| 2 作成した教科書、教材 | | | | |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項 | | | | |
| 4 その他 | | | | |
| 1. 2024年度グッドデザイン・ニューホープ賞（入選） | | 2024年10月31日 | | 大学院修士課程「建築設計総合演習B：原寸大の空間構築」に於いて制作した日干し煉瓦の創作茶室「環然洞」を出品し、入選。 |
| 2. 入学試験合格者を対称とした入学前教育 | | 2022年12月18日2022年12月18日 | | |
| 3. 日本建築学会主催：学生グランプリ2019「銀茶会の茶席」コンペ 優秀賞受賞 | | 2019年10月6日～2019年10月6日 | | 大学院修士課程「建築設計総合演習B：原寸大の空間構築」に於いて制作した創作茶室を出品し、優勝賞（全国2位）を受賞。 |
| 4. 附属高校生対象の入学前教育授業 | | 2016年02月～2019年02月 | | 年1限担当 |
| 職務上の実績に関する事項 | | | | |
| 事項 | | 年月日 | | 概要 |
| 1 資格、免許 | | | | |
| 1. 構造設計一級建築士 | | 2009年05月15日 | | |
| 2. 一級建築士 | | 1981年02月14日 | | |
| 2 特許等 | | | | |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項 | | | | |
| 1. 「伝統的構法の設計法作成及び性能検証実験」検討委員会 課題検討WG | | 2010年04月03日～2011年03月22日 | | |
| 4 その他 | | | | |
| 研究業績等に関する事項 | | | | |
| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著書別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は学会等の名称 | 概要 |
| 1 著書 | | | | |
| 2 学位論文 | | | | |
| 3 学術論文 | | | | |
| その他 | | | | |
| 1. 学会ゲストスピーカー | | | | |
| 2. 学会発表 | | | | |

研究業績等に関する事項

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著書別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は学会等の名称 | 概要 |
|---|---------|-----------|--------------------------|---|
| 2. 学会発表 | | | | |
| 1. 2次元線型弾性論とRadon変換 | 単 | 2024年12月 | 2024年度応用数学合同研究会〔解析系〕予稿集 | 2次元弾性体の応力場が、外力場よりRadon変換・逆変換により、一意的に求まることを示したもの。 |
| 2. 組立解体可能な創作茶室「廻夕亭」 | 共 | 2024年8月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築デザイン | 建築設計総合演習：実物大の空間構築で制作した和紙を用いた創作茶室の作品発表。参加院生および共同指導教員との共著。 |
| 3. トルコ・アンタキヤの町並み復興に向けての9つの提案 | 共 | 2024年8月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築デザイン | 柳沢教授との共著。トルコのアンタキヤ旧市街の震災調査に基づく、震災復興計画に対する9つの提案。 |
| 4. 風景経験の修辞学的研究 その2-『百人一首』の句切れ表現を通して(叙情歌について) | 共 | 2024年8月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築計画 | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。百人一首の区切れを分析し、そこから「間」を読み解いた論考。その後半。 |
| 5. 微小変形理論に基づく平面固体上の複素応力場について | 単 | 2024年8月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集, 構造 I | 2次元線型弾性体に於いて、Cauchyのtensor応力場に替わる複素応力場の提案とRadon変換に依る一意的存在証明についての論考。 |
| 6. 風景経験の修辞学的研究-『百人一首』の句切れ表現を通して | 共 | 2024年6月 | 日本建築学会近畿支部研究報告集, 計画系 | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。百人一首の区切れを分析し、そこから「間」を読み解いた論考。 |
| 7. 微小変形理論に於ける quaternion 応力場についての一考察 | 単 | 2024年6月 | 日本建築学会近畿支部研究報告集, 構造系 | Cauchyのtensor応力場に替わるquaternion 応力場の提案およびRadon変換に依る一意的存在証明に関する論考。 |
| 8. みちなるまち ふくやま駅前整備計画 | 共 | 2023年9月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築デザイン | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。卒業設計作品を発表した。JR福山駅の鉄道で分断された南北駅前エリアを複数の立体自由通路を束ねた施設で架け渡す計画。 |
| 9. スマノハヤシ 須磨浦に建つ複合施設 | 共 | 2023年9月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築デザイン | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。卒業設計作品を発表した。須磨浦公園と海釣り公園を結ぶ複合施設の計画。 |
| 10. 竹の創作茶室 | 共 | 2023年9月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築デザイン | 建築設計総合演習：実物大の空間構築で制作した籠籠編みの創作茶室の作品発表。参加院生（終了生）および共同指導教員との共著。 |
| 11. 組立解体可能な創作茶室「籠趣庵」 | 共 | 2023年9月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築デザイン | 建築設計総合演習：実物大の空間構築で制作した足場板を用いた創作茶室の作品発表。参加院生および共同指導教員との共著。 |
| 12. 組立解体可能な創作茶室「光紙庵」 | 共 | 2023年9月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築デザイン | 建築設計総合演習：実物大の空間構築で制作した紙管を用いた創作茶室の作品発表。参加院生および共同指導教員との共著。 |
| 13. 土佐日記における「望郷」の具体相について 想起される場所の研究 その2 | 共 | 2023年9月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築歴史・意匠 | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。土佐日記を分析し、そこから風景論を読み解いた論考。その後半。 |
| 14. Cauchyの応力定理の欠陥について | 単 | 2023年9月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集, 構造 I | Cauchyの応力定理の欠陥を指摘した論考。 |
| 15. サンティアゴ・カラトラバにおける人体表現についての一考察 MIT 講義録の読解を通じて | 共 | 2023年9月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築歴史・意匠 | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。カラトラバのデザイン手法を分析した論考。その内、人体表現に着目した部分。 |
| 16. 土佐日記における「都」の虚像と実像について 想起される場所の研究 その1 | 共 | 2023年6月 | 日本建築学会近畿支部研究報告集, 計画系 | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。土佐日記を分析し、そこから風景論を読み解いた論考。その前半。 |
| 17. サンティアゴ・カラトラバにおける目の動態表現についての | 共 | 2023年6月 | 日本建築学会近畿支部研究報告集, 計画系 | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。カラトラバのデザイン手法を分析した論考。その内、目の動態表現に着目した部分。 |

研究業績等に関する事項

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著書別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は学会等の名称 | 概要 |
|---|---------|-----------|-------------------------|---|
| 2. 学会発表 | | | | |
| 一考察 MIT講義録の読解を通じて | | | | |
| 18. Cauchyの応力定理の欠陥とpotential応力場についての一考察 | 単 | 2023年6月 | 日本建築学会近畿支部研究報告集、構造系 | Cauchyの応力定理と物体力vector場のHelmholtz分解が相反することから、potential場こそが応力場であるとする論考 |
| 19. なびくみち あままで 届き うづもれぬ - 保久良山道 保全計画 - | 共 | 2022年9月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集、建築デザイン | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。卒業設計作品を発表した。保久良神社西側の土砂災害警戒地区である急斜面地を擁壁と排水設備および植栽で安定化を図ると共に、参道として建築化する計画。 |
| 20. 景観建築スタジオ西館 - 武庫川女子大学景観建築学科新校舎 その3 - | 共 | 2022年9月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集、建築デザイン | 景観建築スタジオ西館の作品発表。設計に関わった建築学部教員との共著。 |
| 21. おおさかニューロジ計画 一開削による表裏共存の提案一 | 共 | 2022年9月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集、建築デザイン | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。卒業設計作品を発表した。大阪西区京町堀界隈の古い街並を、開削するように新しく路地を設け、路地に建物内部が露出、滲出させることで、街の活性化を図る計画。 |
| 22. 組立解体可能な創作茶室「翳式庵」 | 共 | 2022年9月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集、建築デザイン | 建築設計総合演習：実物大の空間構築で制作した三方格子架構による創作茶室の作品発表。参加院生および共同指導教員との共著。 |
| 23. 組立解体可能な創作茶室「緑光庵」 | 共 | 2022年9月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集、建築デザイン | 建築設計総合演習：実物大の空間構築で制作した木質シェル構造の創作茶室の作品発表。参加院生および共同指導教員との共著。 |
| 24. 景観建築スタジオ東館 武庫川女子大学景観建築学科新校舎 その1~その2 | 共 | 2022年9月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集、建築デザイン | 景観建築スタジオ東館の作品発表（2編に分割）。設計に関わった建築学部教員との共著。 |
| 25. <建築空間と風景>の「両義性」についての一考察 増田友也の思惟を通して | 共 | 2022年9月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集、建築歴史・意匠 | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。増田友也著を通じて、建築空間と風景に於ける両義性についての増田の思惟を、考察するもの。（その2） |
| 26. 住宅の空間構成における内外のつながり 一建築家アルヴァ・アアルトの建築作品を対象として一 | 共 | 2022年9月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集、建築計画 | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。建築家アルヴァ・アアルトの住宅作品の空間構成を分析し、内部空間と外部空間の接続に於けるヒエラルキーを明らかにするもの。 |
| 27. 阪神地域の原風景についての一考察一勅撰和歌集16集を通して一 | 共 | 2022年9月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集、建築計画 | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。勅撰和歌集16集に於いて阪神地区を詠った和歌の分析から、阪神地区の現風景を明らかにするもの。 |
| 28. 線型微小変形理論におけるCauchyの応力定理とHelmholtzの定理の相反について一その2 | 単 | 2022年9月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集、構造 I | 線型弾性体の古典的微小変形理論に於ける、Cauchyの応力定理とHelmholtzの定理の相反を指摘するもの。（その2） |
| 29. 建築空間と風景の「両義性」についての一考察 一増田友也の思惟を通して一 | 共 | 2022年6月 | 日本建築学会近畿支部研究報告集、計画系 | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。増田友也著を通じて、建築空間と風景に於ける両義性についての増田の思惟を、考察するもの。（その1） |
| 30. 須磨の原風景についての一考察 一勅撰和歌集16集の分析を通じて一 | 共 | 2022年6月 | 日本建築学会近畿支部研究報告集、計画系 | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。勅撰和歌集16集に於いて「須磨」を詠った和歌の分析から、須磨の現風景を明らかにするもの。 |
| 31. 線型弾性体の微小変形に於けるCauchyの応力定理とHelmholtzの定理の相反について | 単 | 2022年6月 | 日本建築学会近畿支部研究報告集、構造系 | 線型弾性体の古典的微小変形理論に於ける、Cauchyの応力定理とHelmholtzの定理の相反を指摘するもの。（その1） |

研究業績等に関する事項

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著書別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は学会等の名称 | 概要 |
|--|---------|-----------|---------------------------|---|
| 2. 学会発表 | | | | |
| 32. 重奏する都市 音風景から感じる場所 | 共 | 2021年9月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築デザイン | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。卒業設計作品を発表した。都市の音風景をテーマに、神戸フラワーロードに面した複合施設作品。 |
| 33. 菅島採石場跡1000年再生計画 | 共 | 2021年9月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築デザイン | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。卒業設計作品を発表した。岩盤が露出し放置された菅島採石場跡を1000年の時間スパンで森を再生する計画案。 |
| 34. モノ・ボリの森 自立的な学びがうまれる小中学校 | 共 | 2021年9月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築デザイン | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。卒業設計作品を発表した。モンテッソーリ・メソッドを目指す小中一貫校の設計作品。 |
| 35. 伝統の襲 金沢・国際伝統工芸ブランチ館 | 共 | 2021年9月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築デザイン | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。卒業設計作品を発表した。木質ハイブリッド構造の大スパン曲面屋根を架けた、金沢の伝統工芸を継承・展示・販売するための施設。 |
| 36. 建築構成における光に関する一考察 建築家ルイス・バラガンの住宅作品を対象として | 共 | 2021年9月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築歴史・意匠 | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。ルイス・バラガンの住宅作品を収集し、空間構成と光環境について分析したものの。 |
| 37. 槇文彦による「パブリックスペース」における「都市の孤独」について | 共 | 2021年9月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築歴史・意匠 | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。建築雑誌に掲載された槇文彦の建築作品および言説を収集し、槇文彦の「パブリックスペース」における「都市の孤独」を明らかにしたものの。 |
| 38. 木質ハイブリッド構造の活用意義に関する研究 2000年代における「新建築」の事例を通じて | 共 | 2021年9月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築歴史・意匠 | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。建築雑誌に掲載された木質ハイブリッド構造の建築を収集し、その使用目的を分析したものの。続編。 |
| 39. 音風景」についての研究 『古今和歌集』の音表現における情緒の分析を通じて | 共 | 2021年9月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築歴史・意匠 | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。古訓和歌集に収録の和歌に詠まれた「音」から、古代の音表現における情緒を分析したものの。 |
| 40. モンテッソーリ・メソッドにおける人格形成のための環境についての一考察 | 共 | 2021年9月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築歴史・意匠 | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。モンテッソーリの著書からモンテッソーリ・メソッドに於ける人格形成のための環境を明らかにしたものの。 |
| 41. 幾つかの数学定理と応用力学の関係についての一考察 | 単 | 2021年9月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 構造I | グラフ理論、quaterunion、Ham-sandwichの定理、Hairy-ballの定理の定理、Hadamardの拡散現象と力学の関係を考察。 |
| 42. 槇文彦の建築作品における「パブリックスペース」の構成に関する研究 | 共 | 2021年6月 | 日本建築学会近畿支部研究報告集, 計画系 | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。建築雑誌に掲載された槇文彦の建築作品および言説を収集し、槇文彦の「パブリックスペース」の空間構成を分析したものの。 |
| 43. 「音風景」についての研究 『古今和歌集』における音源の分析を通じて | 共 | 2021年6月 | 日本建築学会近畿支部研究報告集, 計画系 | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。古訓和歌集に収録の和歌に詠まれた「音」から、古代の「音風景」を分析したものの。 |
| 44. モンテッソーリ・メソッドの個と集団観を通じた人格形成についての一考察 | 共 | 2021年6月 | 日本建築学会近畿支部研究報告集, 計画系 | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。モンテッソーリの著書からモンテッソーリ・メソッドに於ける個と集団観を明らかにしたものの。 |
| 45. 「木」の活用目的に関する研究-2000年代における「新建築」の木質ハイブリッド構造の事例を通じて | 共 | 2021年6月 | 日本建築学会近畿支部研究報告集, 計画系 | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。建築雑誌に掲載された木質ハイブリッド構造の建築を収集し、その使用目的を分析したものの。 |
| 46. 弾性体のベクトル・ポテンシャルと波動についての覚書き | 単 | 2021年6月 | 日本建築学会近畿支部研究報告集, 構造系 | 慣性力場のHelmholtz分解から、体積歪と回転vectorの波動方程を導く。一方、回転vector波が球面波を形成しないことから、剪断波がHadamardの指摘する拡散を生じ、Huygensの原理が成立しないことを |

研究業績等に関する事項

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著書別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は学会等の名称 | 概要 |
|--|---------|-----------|---------------------------------|---|
| 2. 学会発表 | | | | |
| 47. 祈りを照らす修道院 | 共 | 2020年9月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築デザイン | 示す。 ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。卒業設計作品を発表した。光により醸成される祈りの空間としての修道院を提案。 |
| 48. キッカケをつくる図書館 | 共 | 2020年9月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築デザイン | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。卒業設計作品を発表した。地域社会における新たなコミュニティ創出の場としての図書館複合施設の提案。 |
| 49. 子供が創るカタチ | 共 | 2020年9月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築デザイン | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。卒業設計作品を発表した。小中一貫教育の場として、様々な学習形態に対応する学校空間の提案。 |
| 50. 竹のシェル構造によるもたれ椅子「鼓乃座」 | 共 | 2020年9月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築デザイン | 建築設計総合演習：実物大の空間構築で制作した竹編みシェル造の作品発表。参加院生および共同指導教員との共著。 |
| 51. 一般化ミウラ折りのリンク機構についての一考察 | 単 | 2020年9月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 構造I | 4価頂点平坦折り機構は古典的4節連鎖球面機構であること、それより一般化ミウラ折りの連動性および折り図パターンが求まること、厚板平坦折りがBennett機構となることを明らかにした。 |
| 52. 振動解析における複素モードおよび複素剛性に関する一考察 | 単 | 2020年6月 | 日本建築学会近畿 支部研究報告集, 構造系 | 振動系が複素モードとなる場合、相空間の複素固有ベクトル空間は Hermite 内積 (Unitary) 空間ではなく、対称双線型形式の直交性を有すること、複素剛性は時間領域では因果律のない物理的には意味不明であることを述べたもの |
| 53. 終わりと始まりの場所 | 共 | 2019年09月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築デザイン | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。卒業設計作品を発表した。大仏でも知られる鋸山の緩やかな山麓を敷地に、斎場・葬儀場・納骨堂などを配置し、階段・スロープで繋げた作品。 |
| 54. 竹とモルタルシェルによる創作茶室「筧庵」- シェル構造を用いた原寸大構築物の制作 その2 | 共 | 2019年09月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築デザイン | 建築設計総合演習：実物大の空間構築で制作したテンセグリティ構造の作品発表。参加院生および共同指導教員との共著。 |
| 55. モルタル左官シェル「meteo-Light」- シェル構造を用いた原寸大構築物の制作 その1 | 共 | 2019年09月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築デザイン | 建築設計総合演習：実物大の空間構築で制作したモルタル製シェル構造の作品発表。参加院生および共同指導教員との共著。 |
| 56. 日本的制作論における「自然との調和」についての一考察 | 共 | 2019年09月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築歴史・意匠 | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。日本庭園に関する田中正大, 増田友也, 堀口捨己, 和辻哲郎等の論考、日本文学についての唐木順三, オギユスタン・ベルクの言説から、制作論における日本の自然観を述べたもの。 |
| 57. 安藤忠雄による階段・スロープの「ギャラリー空間」について- 建築空間における階段・スロープの類型的研究 | 共 | 2019年09月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築歴史・意匠 | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。安藤忠雄の建築雑誌に掲載された175作品を対象とし、建築内に計画された階段・スロープを総て類型化した。その結果、その多くは「ギャラリー空間」の構成要素として用いられていることを示したものの。近畿支部発表論文の続編。 |
| 58. 折畳み可能なレシプロカル梁組架構 | 単 | 2019年09月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 構造I | 格子梁構造とは異なり、レシプロカル構造の梁組は静定構造であることを明確化し、接合部にヒンジを設けた2方向格子状レシプロカル梁組は1自由度のLinkageを有し、折畳み可能であることを示したものの。 |
| 59. 安藤忠雄による階段・スロープの「コミュニティ」について- 建築空間における階段・スロープの類型的研究 その1 | 共 | 2019年06月 | 日本建築学会近畿 支部研究報告集, 計画系 | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。安藤忠雄の建築雑誌に掲載された175作品を対象とし、建築内に計画された階段・スロープを総て類型化した。その結果、その多くは「コミュニティ」形成を促す空間構成の要素であることを述べたもの。 |
| 60. 標本化定理とその応用に関する一考察 | 単 | 2019年06月 | 日本建築学会近畿 支部研究報告集, 構造系 | 観測地震波は離散化し記録されるが、標本化定理によりアナログ波に復元出来ること、現実のフィルターにより高周波成分が歪むこと、地動の回転による影響が除去できないことを論じたもの。 |
| 61. ジャバウォックの棲む未完成なあそび園 こどもたちと共に | 共 | 2018年09月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築デザイン | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。卒業設計作品を発表した。恣意的な誘導や目的性を建築空間から解き放ち、子供の視点に立ち帰り、子供達の自発的な発見を誘発する空間を盛り込んだ |

研究業績等に関する事項

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著書別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は学会等の名称 | 概要 |
|--|---------|-----------|---------------------------|--|
| 2. 学会発表 | | | | |
| 変容するあそびの空間 | | | | 設計。 |
| 62. 木造グリッドシェル構造による空間構築 その1-2 | 共 | 2018年9月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築デザイン | 建築設計総合演習：実物大の空間構築で制作した木質グリッド構造の作品発表。参加院生および共同指導教員との共著。 |
| 63. 桂離宮における石燈籠による空間構成についての一考察 | 共 | 2018年09月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築歴史・意匠 | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。灯籠・飛石・蹲という庭園の3要素が桂離宮の空間構成に如何に関わっているかを論じたもの。近畿支部発表の続編。 |
| 64. 「あそび発達段階」における空間の意味形成過程に関する一考察 | 共 | 2018年09月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築歴史・意匠 | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。仙田満の提唱する「あそび発達段階」を、アフォーダンス（ギブソン）、シエマ（ピアジェ）あるいは実存的空間（シュルツ）の概念から読み解いたもの。 |
| 65. 地方都市中心市街地における商業空間の小地区変遷についての研究 徳島市東新町商店街界隈を対象として | 共 | 2018年09月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築歴史・意匠 | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。徳島市中心部商業市街地が戦後如何に変遷したかを地図資料および現地調査を基に論じたもの。近畿支部発表の続編。 |
| 66. 阪急京都線沿線市街地における旧集落拡大の過程について | 共 | 2018年09月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築歴史・意匠 | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。阪急京都線各駅周辺における市街地形成過程が、阪急線駅および併走するJR線駅の開業と如何に関わったかを地図資料に基づき分析し、類型化を試みたもの。近畿支部発表の続編。 |
| 67. 「神戸西部耕地整理事業」における事業目的の変化と水利計画 | 共 | 2018年09月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築歴史・意匠 | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。神戸西部（新長田駅付近）において大正期に3期に分けて実施された耕地整理事業の変遷を調査し、地割・都市計画に与えた影響を読み解き、分析するもの。近畿支部発表の続編。 |
| 68. 神戸・南京町における中国風建築ファサードの研究 | 共 | 2018年9月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築歴史・意匠 | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。神戸・南京町の街並を形成する建築ファサードの実地調査から、中国風街並を構成する要素を抽出・分類し、その出現実態を分析したもの。 |
| 69. 水平成層地盤の2次元線形モデルにおける面外振動の周波数応答関数 2次元重複反射理論 | 単 | 2018年9月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 構造I | 水平成層地盤の2次元線形モデルにおける面外振動の周波数応答関数を1次元重複反射理論を2次元に拡張して求めたもの。 |
| 70. 桂離宮の庭園要素による空間構成についての一考察 | 共 | 2018年06月 | 日本建築学会近畿支部研究報告集, 歴史・意匠 | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。灯籠・飛石・蹲という庭園の3要素が桂離宮の空間構成に如何に関わっているかを論じたもの。 |
| 71. 地方都市中心市街地における商業空間の変遷についての研究 | 共 | 2018年06月 | 日本建築学会近畿支部研究報告集, 計画系 | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。徳島市中心部商業市街地が戦後如何に変遷したかを地図資料および現地調査を基に論じたもの。 |
| 72. 「神戸西部耕地整理事業」における区割形式の変遷に関する研究 | 共 | 2018年06月 | 日本建築学会近畿支部研究報告集, 計画系 | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。神戸市南西部の条里制区画が現状の区画に至ったかを、地図資料および事業記録等に基づき耕地整理事業の区割形式の変遷から読み解いたもの。 |
| 73. 阪急京都線各駅周辺における市街地形成過程の類型化 | 共 | 2018年06月 | 日本建築学会近畿支部研究報告集, 計画系 | ゼミ配属学生および共同指導教員との共著。阪急京都線各駅周辺における市街地形成過程が、阪急線駅および併走するJR線駅の開業と如何に関わったかを地図資料に基づき分析し、類型化を試みたもの。 |
| 74. 水平成層地盤の2次元線形弾性モデルにおける面内振動の周波数応答関数 | 単 | 2018年06月 | 日本建築学会近畿支部研究報告集, 構造系 | 水平成層地盤の2次元線形弾性モデルにおける面内振動の周波数応答関数をThomson-Haskell法により求めたもの。 |
| 75. テンセグリティ構造を用いた原寸大構築物 その1 テンセグリティ構造の塔？ノ塔 | 共 | 2017年9月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築デザイン | 建築設計総合演習：実物大の空間構築で制作したテンセグリティ構造の作品発表。参加院生および共同指導教員との共著。 |
| 76. 水平成層地盤 1次元線形モデルのモード | 単 | 2017年9月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, | 水平成層地盤 1次元線形モデルのモード解析解と重複反射理論解が等価であることの数理的証明。 |

研究業績等に関する事項

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著書別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は学会等の名称 | 概要 |
|--|---------|-----------|---------------------------|---|
| 2. 学会発表 | | | | |
| 解析解と重複反射理論解の等価性 | | | 構造I | |
| 77. 厚みのある剛体折り機構の提案 | 共 | 2017年9月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 構造I | ゼミ配属院生との共著。厚みのあるパネルによる剛体折り機構について、新たな2案を提案。 |
| 78. 寝屋川市高柳地区における「袋小路街区」の形成について | 共 | 2017年9月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築歴史・意匠 | ゼミ配属学生および共同指導教師との共著。寝屋川市高柳地区における「袋小路街区」が都市化に伴い如何に発生したかを地図資料に基づき論じたもの。 |
| 79. 寝屋川市における「袋小路街区」の分布について | 共 | 2017年9月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築歴史・意匠 | ゼミ配属学生および共同指導教師との共著。寝屋川市高柳地区における「袋小路街区」が都市化に伴い如何に発生したかを地図資料に基づき論じたもの。 |
| 80. テンセグリティ構造を用いた原寸大構築物 その2 テンセグリティ構造と膜構造を併用した構築物 Turban Shell | 共 | 2017年9月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 建築デザイン | 建築設計総合演習：実物大の空間構築で制作したテンセグリティ構造の作品発表。参加院生および共同指導教員との共著。 |
| 81. テンセグリティ構造を用いた原寸大構築物 | 共 | 2017年9月 | 日本建築学会近畿支部研究報告集, 構造系 | 建築設計総合演習：実物大の空間構築で制作したテンセグリティ構造の作品発表。参加院生および共同指導教員との共著。 |
| 82. 水平成層地盤の2次元線形モデルにおける面外振動の厳密解 | 単 | 2017年06月 | 日本建築学会近畿支部研究報告集, 構造系 | Thomson-Haskell法による水平成層地盤の2次元線形モデルにおける面外振動のモード解析を求めたもの。 |
| 83. 連続体の動的解析における空間離散化の問題点 | 単 | 2016年06月 | 日本建築学会近畿支部研究報告集, 構造系 | 連続体の動的解析における有限差分法など空間離散化解析手法において生じる分散現象について述べたもの。 |
| 84. 時刻歴解析における時間離散化の問題点 (時刻歴ハイレゾ化の勧め) | 単 | 2015年06月 | 日本建築学会近畿支部研究報告集, 構造系 | 地震観測波の(標本化)時間離散化に伴う時刻歴応答解析の数値計算誤差を論じたもの。 |
| 85. 地震応答解析における離散化の問題点 | 単 | 2014年09月 | 日本建築学会大会 学術講演会, 構造I | 地震応答解析における時間および空間離散化に伴う問題点の概要を論じたもの。 |
| 86. 線形振動応答解析法の再考察 | 単 | 2014年6月 | 日本建築学会近畿支部研究報告集, 構造系 | 時刻歴応答解析法の数理的根拠と数値誤差を再考察したもの。 |
| 87. Wave propagation in one dimensional elasto-plastic media | 共 | 1975年11月 | 日本地震工学ソポゾウム 第4回 論文集 | 小堀鐸二・鳥巢茂樹(修士論文を発表論文に纏めたもの):P-S波合成降伏を考慮した1次元弾塑性体中の特性曲線法に依る波動伝搬解析。 |
| 88. 1次元弾塑性媒質中の波動伝搬解析 | 共 | 1975年8月 | 日本建築学会大会 学術講演梗概集, 構造系 | 小堀鐸二・鳥巢茂樹(修士論文を発表論文に纏めたもの):P-S波合成降伏を考慮した1次元弾塑性体中の特性曲線法に依る波動伝搬解析。 |
| 3. 総説 | | | | |
| 4. 芸術(建築模型等含む)・スポーツ分野の業績 | | | | |
| 1. スラブ連続鋳造設備建屋の設計 | | 2008年 | | 国内最大級の溶鋼取鍋クレーンの走行する建屋の構造設計。走行ガードは高さ29m、BH-4400 x 1250。 |
| 2. X線自由電子レーザー施設の構造基本設計 | | 2006年 | | 世界2番目のX-FEL施設。全長700mに亘る精密機器を収納する建屋の基礎・躯体の基本設計。 |
| 3. 海水淡水化施設建屋の設計 | | 2005年 | | 国内最大の海水淡水化施設。航空管制施設に隣接するため、半地下として高さ制限を77。 |
| 4. 粒子線治療施設建屋の設計 | | 1999年 | | 設計当時国内に数例しかなかった施設で、設備を放射線遮蔽の厚いコンクリートで囲んだ建物。 |
| 5. 海底光ケーブル製造工場の設計 | | 1995年 | | 世界最大級の海底光ケーブル工場。横浜から移転のため、工場建物群一式を設計。 |
| 5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等 | | | | |
| 6. 研究費の取得状況 | | | | |
| 1. 文化庁 令和5年度 | 共 | 2024年3月 | | 2023年2月にトルコ南東部で発生した地震により被害を受けた歴史的 |

研究業績等に関する事項

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著書別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は学会等の名称 | 概要 |
|---|---------|-----------|-------------------|--|
| 6. 研究費の取得状況 | | | | |
| 緊急的文化遺産保護国際貢献事業(専門家交流)「トルコ共和国における歴史的市街地の復興に関する国際貢献事業」委託業務成果報告書報告書 | | | | 市街地の復興支援に関する事業として、文化庁より受託した：令和5年度緊急的文化遺産保護国際貢献事業(専門家交流)「トルコ共和国における歴史的市街地の復興に関する国際貢献事業」の成果報告書。被災地派遣団の一員として、構造設計に関する提案部分を担当。 |

学会及び社会における活動等

| 年月日 | 事項 |
|--------------------------|-------------------------------------|
| 1. 2024年11月5日2024年11月8日 | トルコ・アンタキヤの復興都市デザインシンポジウム |
| 2. 2023年12月 | 和歌山市中学校給食センター整備運営事業者選定委員会副委員長 |
| 3. 2023年11月～2024年9月 | 河内長野市新学校給食センター整備運営事業者選定審査会副会長 |
| 4. 2023年11月～2024年6月 | 苦楽園中学校・小学校長寿命化改修事業デザインビルド事業者選定委員会委員 |
| 5. 2023年5月～2025年3月 | 宇治市学校給食センター検討委員会委員 |
| 6. 2023年4月12日～2023年4月19日 | トルコ南東部地震被災地調査 |
| 7. 2022年8月3日～2023年3月31日 | 西宮市立学校施設整備設計等事業者選定委員 |
| 8. 2022年3月15日2022年3月31日 | 神戸市学校給食センター整備・運営PFI事業者選定委員会委員長 |
| 9. 2021年11月～2022年9月 | 茨木市中学校給食センター整備運営事業者候補者選定委員会副委員長 |
| 10. 2019年7月23日 | スーパーサイエンスハイスクール授業 |
| 11. 2019年5月～2019年7月 | 加古川市学校給食センター整備運営事業者選定委員会委員長 |
| 12. 2019年4月～2019年11月 | 尼崎市立学校給食センター整備運営事業者選定委員会副委員長 |
| 13. 2018年10月03日 | スーパーサイエンスハイスクール授業 |
| 14. 2017年11月～2018年10月 | 加古川市学校給食センター整備運営事業者選定委員会委員長 |
| 15. 2016年10月04日 | スーパーサイエンスハイスクール授業 |
| 16. 2016年04月～2019年01月 | 西宮市営住宅建替PFI事業者等選定委員 |